



桜谷小学校

《児童数83名》

学校教育目標

一人ひとりが喜びと充実感を味わえる学校
～あたたかい人間関係を通して～

子ども・大人がつながる

学校生活のいろいろな場面で縦割り活動を行っています。上級生が下級生に声をかけながらともに活動に取り組むことで、お互いを思いやる心や上級生としての自覚を育てます。また、地域の方とともに稲やサツマイモの栽培、餅つき大会や昔遊び体験も行っていきます。



ふるさとを大切にすることを育む

昨年度より「学校運営協議会」の皆さんとともに桜谷の子どもを育てる「コミュニティ・スクール」が始まりました。来年度の「創立150周年」を迎えるためのイベントを地域・保護者が中心となって始めています。未来を担う子どもたちを中心に置き「好きです桜谷」と胸を張って言える子どもを育む学校づくり・地域づくりをめざします。



学びを広げる



学校全体で桜谷らしさのある協働的な学びを広げています。

1学期には、高学年の防災通学合宿、全学年での着衣水泳と救急救命訓練のほか地域の方を講師にふるさと学習を学んだり、びわ湖ホール声楽アンサンブルの皆さんの演奏会を地域の方とともに鑑賞したりしました。2学期からもさまざまな体験活動のなかで、一人ひとりが学ぶ喜びと充実感が味わえるような活動を展開していきたいと思えます。



日野中学校

《生徒数537名》

校訓「進取」

学校教育目標
めざす生徒像

創造力豊かで、たくましい生徒の育成
元気に挨拶できる生徒・失敗を恐れず挑戦できる生徒



ワンの



いいねポイント① ゆるキャラ「ひのワン」で学校活性化中!!

昨年度、日野中に誕生したオリジナルキャラクター「ひのワン」が知名度アップで立派な学校の顔(シンボル)に成長しています。今年は、生徒会の「あいさつ運動」に一役買って、のぼり旗になりました。カラフルな色合いの4種類でさらにかわいさがアップし、朝のあいさつに笑顔がこぼれています。



いいねポイント② 制服が新しくなりました!!

今年度入学の1年生から制服が新しく変わりました。胸のマークは生徒のデザインで決まりました。落ち着いた色合いで動きやすく、学園ドラマの制服のようにおしゃれでちょっと洗練されたカッコよさがあります。



いいねポイント③ 花いっぱい作戦遂行中!!

花があると笑顔になるから、教室から見える花壇に花を植えたいと、生徒会を中心に花壇整備に力を入れています。花文字になるように考えて配置して植えられた花々が色とりどりに咲き誇っています。



落ち着いた雰囲気の中で授業が進められ、行事には熱心に取り組む、各種大会で活躍する姿が見られます。伝統の継承とさらなる発展にチャレンジする日野中生です。

◆問い合わせ先 学校教育課 学校教育担当 ☎ 0748-52-6564



「西桜谷ちよいのり会」 出発式

8月1日(火)、西桜谷公民館で町内で3か所目のボランティアの方による移動支援「西桜谷ちよいのり会」の出発式が行われました。

出発式には運転ボランティアの方や利用者の方など、約30名が参加されました。運転ボランティアの矢尾正利さん(中在寺は「1年前から折り余曲折がありました」が、たくさんの方のサポートのもとここまでくることができました。利用者の方に「利用してよかった」「ありがたかった」と思ってもらえるちよいのり会にしていきたいです」と話されました。

利用者の方は「こんな支援をずっと願っていました。安心して病院などに行くことができ、とても感謝しています」と笑顔で話し、多くの人に見守られながら出発されました。



念願の
ちよいのり
利用!



子育て女性の再就職を応援する就労セミナー 「103万、106万、 130万、150万の壁」

8月23日(水)、林業センターで子育て女性の再就職を応援する就労セミナーとして「103万、106万、130万、150万の壁」と題したセミナーが開催されました。

特定社会保険労務士の山田真由子講師が、これから就業するにあたって、気を付けなくてはいけない税金や社会保険などの収入によって支払いが発生するさまざまな金額のラインの話や、扶養内で働く場合に求人情報を見るときのポイント、正社員やパートなどの働く形態によってのそれぞれのメリット、デメリットの話などをされました。

講師からの話を受け、参加された方からは「扶養内は難しいかな」「考え直すことが必要」など、自身のライフプランを考えたい意見がありました。つどいのひろば「ほけっと」では、子育て女性の

就労応援として、専用パソコンでハローワークと同じ内容の求人情報を見ることができ、職員に声をかけていただきぜひご利用ください。



熱心に
質問をする
参加者



災害募金イベント 「もったいない市」

8月27日(日)、勤労福祉会館で日野町地域女性団体連合会と日野町赤十字奉仕団の方による、家庭で不要になったものなど捨てるにはもったいない品物が販売される「もったいない市」が開催され、多くの方でにぎわいました。

野菜、お皿や調理器具、洗剤などの日用品、バッグや服などの衣料品など、商品の多くが50円や100円で販売され、訪れた方は「これもこの値段でいいの?」「一回り小さいお皿はないかなあ」など、思い思いのものを手に取り、吟味しながらお買い物を楽しんでいました。

日野町地域女性団体連合会の方と日野町赤十字奉仕団の方は「幅広い世代の方が多く来てくれてうれしい」「いろいろなものを持ってきてくれてありがたいです」と話されていました。

「もったいない市」での売り上げは被災地への寄付などに活用されるそうです。



掘り出し物は
あるかな?



新鮮なたくさんの野菜